

令和 7 年度社会福祉法人同朋会事業報告

令和 7 年度（2025）は、法人全体の事業としては全般に大きな変動もなく、事業経営ができていた。

介護・障害においての職員に対する処遇面は、一時的な処遇改善等でのプラス改定はあったものの全産業との賃金格差は拡大し続けているのが現状である。

人材確保については、この賃金格差が最も大きな壁となっている。

また、施設の老朽化、特に養護老人ホーム美山荘の老朽化が著しく大型修繕が相次いでおり、このままでは事業の縮小や撤退、施設封鎖等が生じかねない状況である。

更には、中東情勢の緊迫化が生じ、諸物価の高騰により施設の経営環境は急速に厳しさを増しており、各事業所においても業務の見直し等に力を入れ努力をしてきたが、制度内事業所うえ限界がある。

これらの課題に対し、令和 8 年度は国に対し業界一丸となって報酬改定（基本単価の増額）を強く要望することが不可欠である。

1 役員会の開催

(1) 監事監査

令和 7 年 5 月 16 日（金）実施

＊令和 6 年度法人本部並びに各事業所の事業報告・決算報告・資産状況

(2) 理事会

令和 7 年 5 月 23 日（金）第 1 回理事会

（出席理事 8 名・監事 1 名）

＊令和 6 年度同朋会本部並びに各事業所の事業報告について

＊令和 6 年度同朋会財産目録について

＊令和 6 年度同朋会本部並びに各事業所の決算について

＊令和 6 年度監事監査報告について

＊令和 7 年度定時評議員会の開催について

＊任期満了に伴う次期評議員候補者の推薦について

＊任期満了に伴う次期監事・理事候補者の推薦について

＊同朋会諸規程の変更について

＊社会福祉充実残額シートについて

＊同朋会定款変更について

令和 7 年 6 月 7 日（土）第 2 回理事会

（出席理事 8 名・監事 2 名）

＊理事長の選定について

＊副理事長及び業務執行理事の選定について

令和 7 年 10 月 24 日（金）第 3 回理事会

（出席理事 8 名・監事 2 名）

＊令和 7 年度同朋会本部並びに各事業所の一次補正予算案について

＊2025 年 JKA 福祉機器・医療機器整備事業

（特養）椿野苑の「特殊浴槽」入替整備事業の業者決定について

＊令和 7 年度同朋会第 2 回評議員会の招集について

＊同朋会諸規程の改定について

・理事長等職務執行状況報告にについて

令和 8 年 3 月 13 日（金）第 4 回理事会

（出席理事 7 名・監事 1 名）

＊令和 7 年度同朋会本部並びに各事業所の二次補正予算案について

＊令和 8 年度同朋会本部並びに各事業所の事業計画案・予算案について

＊令和 7 年度同朋会第 3 回評議員会の招集について

＊施設長等の任免について

＊業務執行理事の推薦について

＊同朋会諸規程の改定について

・理事長等職務執行状況報告にについて

・同朋会各事業所の空調設備保守委託業者の見積入札結果について

・同朋会各事業所の食事提供業務委託業者の見積入札結果について

・同朋会各事業所の指導監査及び実地指導結果報告について

・令和 7 年度同朋会永年勤続表彰について

(3) 評議員会

令和 7 年 6 月 7 日（土）7 年度定時評議員会

（出席評議員 7 名・理事 8 名・監事 2 名）

＊令和 6 年度同朋会本部並びに各事業所の事業報告について

＊令和 6 年度同朋会財産目録について

＊令和 6 年度同朋会本部並びに各事業所の決算について

＊令和 6 年度監事監査報告について

＊任期満了に伴う次期監事・理事候補者の選任について

＊同朋会諸規程の変更について

＊社会福祉充実残額シートについて

＊同朋会定款変更について

令和7年11月8日（土）第2回評議員会

（出席評議員7名・理事8名・監事2名）

- ＊令和7年度同朋会本部並びに各事業所の一次補正予算案について
- ＊同朋会諸規程の改定について等

令和8年3月28日（土）第3回評議員会

（出席評議員8名・理事6名・監事2名）

- ＊令和7年度同朋会本部並びに各事業所の二次補正予算案について
- ＊令和8年度同朋会本部並びに各事業所の事業計画案・予算案について
- ＊業務執行理事の選任について
- ＊同朋会諸規程の改定について
 - ・理事長等職務執行状況報告にについて
 - ・施設長等の任免について
 - ・同朋会各事業所の空調設備保守委託業者の見積入札結果について
 - ・同朋会各事業所の食事提供業務委託業者の見積入札結果について
 - ・同朋会各事業所の指導監査及び実地指導結果報告について
 - ・令和7年度同朋会永年勤続表彰について

2 その他の事業の実施

（経営分析会議・中長期計画会議）

＊経営分析会議は毎月1回

（4/18・5/29・6/25・7/22・8/27・9/26・10/21・11/25・12/19・1/18・2/24・3/24）

各事業所間の連携・情報共有の目的で理事長以下、各施設長等幹部職員・委託の社会保険労務士で構成し、毎月の経営状況、運営上の課題等の改善策、諸規程の見直し、さらには人材確保・育成を含めた労務管理について検討を行った。

＊中長期計画会議

今年度、各事業所のビジョンの中でかがしまこども園の園舎改築計画について意見交換を行った。

（法人各委員会）

＊職員育成委員会・人事考課委員会・虐待防止委員会
福利厚生員会・服務審議委員会

各委員会はそれぞれの事業所からの代表が定期的に委員会を開催し職員の資質向上等に努めた。

（福祉サービス活動の透明化の推進）

第三者で構成するサービス点検調整委員会は7年度は対面会議は7月に行い、書面での会議を年2回実施した。

（後援会との連携）

コロナ禍以降、各事業所の行事等も縮小化され、利用者中心の小規模のスタイルとなった。保護者会を中心とした会員の方々の高齢化に伴い桜山周辺整備事業も業者に委託した。

チャリティーゴルフ大会については会員各位の強い要望もあり年2回実施する事が出来た。

（その他・登記事項）

令和7年6月23日資産等の変更登記を行った。

令和7年度 障害者支援施設 伊自良苑 事業報告

1. 総括

- ・コロナ対策優先の日常は脱却し、出来る限り通常の生活の営みを支えながら、必要に応じて対応策を図ってきた。
- ・日々の生活や活動においては、以前のように他ユニットの方と混じり合いながらの取り組みが行われた。
- ・地域の催物や大勢の人が集う催物に再び参加したり、新たな取り組みを実施するなど非日常的なものへの参加を援助した。
- ・自宅帰省や面会は制限することなく、保護者の裁量で希望に応じて実施してきた。実施後の体調変化には留意を図った。
- ・短期入所や日中一時のニーズには、通所利用者や一部他事業所の利用者に対し希望に応じて受け入れを行ってきた。
- ・保育や社会福祉士の実習や特別支援学校からの実習を受け入れて、次世代の育成と共に人員確保に繋がるよう努めた。
- ・研修や会議は、内外共に対面型にも参加を図って人材育成や支援の質の向上に努めた。
- ・地域連携推進会議を開催し、地域との連携を図りながらサービスの質の向上に努めた。
- ・新型コロナウイルスとインフルエンザA型が3つ生活棟にて広がり、利用者、職員数名が感染して、療養者支援を図った。

2. 年間利用者数

〈施設入所支援事業及び生活介護事業 現員数及び利用実績数、稼働日数〉

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
施設入所利用現員	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70.0
生活介護利用現員	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79	79.0
生活介護稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	22.4
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
施設入所利用現員	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	70	70	69.2
生活介護利用現員	77	77	77	77	77	79	79	79	79	79	79	79	78.2
生活介護稼働日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	22.4

〈短期入所事業及び日中一時支援事業 延利用者数〉

令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
短期入所事業	27	27	27	29	25	25	28	17	16	23	29	26	299
日中一時支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
短期入所事業	17	16	25	27	21	24	27	34	26	23	35	30	305
日中一時支援事業	2	5	5	8	10	0	1	0	0	0	0	0	31

3. 障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均
入所利用者				2	12	56	70	5.77
通所利用者				1	4	5	10	5.40
合 計				3	16	61	80	5.73

4. 年齢別利用者状況

		～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	合計	平均年齢
入所	男		3	15	19	19	3		59	45.0
	女			1	3	7			11	47.5
通所	男		1	5	3				9	35.1
	女			1					1	32.0
合 計		0	4	22	25	26	3	0	80	44.2

5. 職種別職員数

	施設長	副施設長	事務長	生活支援	看護師	栄養士	医師
常 勤	1	1	1	45	2	1	
パート等				9	1		
嘱 託							2
常勤換算計	1	1	1	48.1	2.6	1	0.1

＊サービス管理責任者…2名を配置

施設入所支援事業・生活介護事業、短期入所事業、日中一時支援事業

6. 年間行事等状況

月	行 事 等 内 容（実施日）
4月	誕生会（26）
5月	集団レントゲン検診（16）、誕生会（31）
6月	誕生会（28）
7月	誕生会（26）
8月	誕生会（30）
9月	夕涼み会（22）、誕生会（27）
10月	キッチンカーフェス（24）、誕生会（25）
11月	岐阜県パラスポーツ大会（9）、誕生会（29）
12月	インフルエンザ予防接種（1）、ユニット別クリスマス会、誕生会（27）
1月	さえずりユニット食事会（23）、誕生会（31）
2月	誕生会（28）
3月	はばたきユニット食事会（17）、ハーモニーコンサート（20）、誕生会（28）

7. 職員研修実施状況

5/18	岐阜県多食種連携研究会	
6/9	災害時役に立つ介護技術研修	
6/26	支援協会全体総会	4名
7/30	昭徳会泰山寮職員伊自良苑見学	4名
8/26	昭徳会泰山寮施設見学	8名
9/12	医学知識基礎講座	1名
10/8	メンタルヘルス対策研修	13名
11/6・7	ナラティブアプローチ研修	1名
11/14	支援協会初任者研修会	2名
12/8・9	全国自閉症支援者協会・福井大会	5名
12/23	苑内研修 感染症対策研修会	14名
1/21	虐待防止マネジャー研修	2名
3/19	支援協会権利擁護研修	4名

衛生管理者研修会

- 6/19、8/5、8/21
- 強度行動障害支援者養成研修基礎研修
- 6/17～19、6/20～22、7/8、7/15、8/6、8/12、8/22～24、8/26、9/9、9/16～18、9/23、10/14、10/28、11/18～20、12/2、12/9、12/16
- 法人職員階層別研修会
- ・初任者研修会（5/10 2名） ・ステップアップ研修Ⅰ（6/21 2名） ・ステップアップ研修Ⅲ（10/18 6名）
- ・幹部・現場管理者研修（2/28 2名） ・事例研究活動・発表会（11/22 5名）

8. 会議など実施状況

運営委員会	年間13回	研修委員会	年間8回
職員会	年間15回	保健・給食委員会	年間4回
各ユニット会議	年間11～13回	防災・感染症対策委員会	年間4回
行事部会	年間6回	権利擁護・虐待防止委員会	年間12回
衛生委員会	年間12回	身体拘束廃止委員会	年間12回
		安全運転管理部会	年間1回

令和7年度 同朋会ケアホーム 事業報告
指定共同生活援助(介護サービス包括型)事業所

1. 総括

- ・同朋会ケアホームでは4つの共同生活住居(メゾン仲田、ウイング伊自良、サハイツ大森A棟、サハイツ大森B棟)を一つの事業所として運営し、個別支援計画に基づいて夫々のニーズに応えながら、より豊かな人生の歩みを目指して地域生活の充実を図った。また、4つの共同生活住居(メゾン仲田、ウイング伊自良、サハイツ大森A棟、サハイツ大森B棟)の夜間支援としてウイング伊自良に宿直者を配置して包括的な支援を図った。
- ・意思決定支援を推進するとともに、利用者様一人一人と地域生活への移行確認を行い、実現に向けた取り組みを図った。
- ・地域連携推進会議を開催し、利用者様にも会議に参加して頂き、事業所の現状についての報告、地域との連携、情報共有、意見交換を行った。
- ・各種感染症対策として、環境整備・健康チェックを含め、衛生面での意識向上に向けた支援を図った。
- ・毎月、外出を計画し、余暇の充実を図った。(飲食店への外出や四季を感じるドライブ等)
- ・新たなニーズへの支援として、体験入所を実施をした。(9月に1回、1泊2日)

2. 月別利用者現員状況

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
7年度	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
6年度	19	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17.8

3. 年齢別利用状況

R8.3.31現在												年齢	
性別	～19	20～29	30～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	76～	計	平均
男	0	0	0	1	3	2	2	2	2	3	3	18	61.3

4. 障害支援区分

R8.3.31現在							
	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
7年度	0	2	2	5	6	3	4.3
6年度	0	2	3	5	4	3	4.2

5. 行事等状況

- ・地域の催物に参加した。水路清掃、灯火祭り、栗祭り、文化祭、節分祭
- ・季節感を味わう催物を実施した。夏祭り、紅葉狩り、Xmas会、新年会

6. 会議研修等状況

【事業所内会議】	【事業所外会議】
・グループホーム担当者会議 12回	・県知的障害者支援協会共同生活援助分科会 年3回
・グループホーム世話人会議 12回	・地域連携推進会議 年1回
・グループホーム入居者ミーティング 5回	・山県市障害者自立支援推進協議会 年3回
・バックアップ事業所(伊自良苑)連携会議 12回	

【事業所外研修】
10/1.2 東海地区知的障害関係施設職員等研究協議会 2名
11/21 世話人等研修会 ZOOMにて 5名
12月 岐阜県障害者虐待防止・権利擁護研修 e-ラーニング 1名
3/19 岐阜県知的障害者支援協会 権利擁護・人権倫理を考える研修会 1名

【事業所内研修】
9/29・2/18 権利擁護・虐待防止研修会

7. 職員体制

管理者(1) サービス管理責任者(1) 生活支援員(5) 世話人(10)

令和7年度 東濃自閉症援助センター「かさはら」 事業報告書

実施事業の概要

1. 全般
 - 自閉症に特化した生活介護の事業所として、個別支援プログラムに基づいてそれぞれの自立に向けた取り組みを行った。
 - ・日中活動への関心や意欲をもって取り組めるように作業工程や治具の工夫と活動環境の整備を行った。
 - ・行事や余暇の活動を中心に、活動の中に選択場面を組み込み、利用者の思いが反映される取り組みを行った。
 - ・個別支援計画のモニタリングの時期に利用者、保護者との面談を行った。
 - ・セルフチェック、ヒヤリハット、にこりほっと報告を行った。毎月、利用者のにこりほっとを称えあう時間を持った。
 - ・保護者会との合同企画行事「かさはら」交流会にて、講師に依頼しバラスポーツ教室を行った。
 - ・中京学院大学短期大学より保育実習生の受入れを行った(2名)。
 - 新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染防止対策をし、感染状況を注視しながら安全安心な活動環境の提供に努めた。
 - ・日々の健康管理表の記録や手洗い、手指の消毒、マスクの着用等の徹底を保護者と連携して行った。
 - ・利用者が楽しみにしているグループごとの外出や作業お疲れさま会等は、規模や企画を工夫して行った。外出活動は、概ねコロナ前と同様にできるようになってきた。
 - ・11月にインフルエンザ感染拡大(利用者13名、職員2名)したが、事業所を休業することはなかった。
 - ・事業継続計画に基づいた感染症防止に係る研修を実施した。
 - グループホームの新規整備事業の早期実現に向け、多治見市等関係機関との協議を続けている。
2. 地域別利用者数

多治見市	土岐市	瑞浪市	可児市	美濃加茂市	岐阜市	計
11	5	3	3	1	1	24
3. 障害支援区分

区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0	1	3	10	10	24

平均区分 5.20
4. 年間月別延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男 性	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
女 性	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
計	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
延利用者数	490	496	494	521	404	475	524	385	494	478	433	499	5,693
前年度	510	519	359	478	455	458	513	457	448	464	430	500	5,591
5. 年齢別利用者状況 (令和8年3月31日現在)

	15～19	20～29	30～39	40～49	50～	計	平均
男 性	0	10	6	2	2	20	33.8
女 性	0	4	0	0	0	4	24.3
計	0	14	6	2	2	24	29.0
6. 職種別職員数(常勤換算)

	施設長	サビ管	生活支援員	看護師	生活支援員	世話人	計
常 勤	1	1	8		2		12
パート等			4(3.1)	2 (1.1)	0	2 (1.1)	10 (6.3)
合 計	1	1	12 (11.1)	2 (1.1)	2	2 (1.1)	20 (16.3)
前年度	1	1	11 (10.1)	2 (1.1)	2	3 (1.1)	20 (16.3)
7. 年間主要行事
 - ・集合写真(4月)
 - ・七夕会(7月)
 - ・内科検診(9月10日～9月19日)
 - ・巡回歯科健診(10月17日)
 - ・避難訓練(5月、9月、1月:センター)(7月、11月、3月:ケアホーム)
 - ・作業お疲れさま会(8月、12月)
 - ・作業班別外出(月1回)
 - ・「かさはら」交流会(9月)
8. 会議研修等 (会議)
 - ・職員会議(月1回) (研修) 5/10 法人初任者研修 1名 9/27 支援協会テーマ別研修会 1名
 - ・作業班会議(月1回) 6/15、7/20～21、8/24、9/21 10/1～2 東海地区知的障害関係職員研究大会 2名
 - ・人権擁護委員会(月1回) 10/12～13、11/9、12/14 10/27、10/30 救急救命講習 13名
 - ・研修委員会(年間5回) 心のケア 支援スタッフ養成研修 1名 11/22 法人事例研究・活動発表会 8名
 - ・行事委員会(年間10回) 6/21 法人ステップアップ研修Ⅰ 1名 11/27～28 全国知的障害関係職員研究大会 1名
 - ・広報委員会(年5回) 6/26 支援協会総会 東田直樹講演会 2名 12/4～5 日中活動支援部会全国大会 1名
 - ・班長会(年2回) 8/4～5 強度行動障害支援者養成研修(基礎) 1名 2/28 法人管理者、現場管理者研修 1名
 - ・ケアホーム会議(月1回) 8/18～19、8/25～26、9/8～9 3/17～18 岐阜県虐待防止・権利擁護研修 1名
 - ・感染症対策委員会(年3回) サービス管理責任者等研修(基礎) 1名 9/2、10/18 法人ステップアップ研修Ⅲ①② 2名

令和7年度 同朋会東濃ケアホーム 事業報告書

実施事業の概要

1. 全般
 - 新型コロナウイルスの感染防止策を講じながら、自閉症に特化した共同生活援助(介護サービス包括型)事業を実施した。
 - ・生活支援員を2名配置し、個別支援プログラムに沿った生活支援や社会活動の支援、休日の支援を行った。
 - ・帰宅時の手指の消毒や手洗い、うがい、マスクの交換着用等、感染防止策の徹底と意識化を継続して行った
 - ・地域の行事への参加や公園や外食等に出かける機会が増えてきた。感染防止に留意しながら活動範囲を広げている。
 - 体験利用者の受け入れを随時行った(延175名)。
 - ・希望者が均等に利用できるように受け入れの仕組みを整えた。
- 2.地域別利用者の状況

	多治見市	可児市	美濃加茂市	岐阜市	土岐市	瑞浪市		計
入 居	2	1	1	1				5
体験利用	7	1	0	0	2	2		12
- 3.障害支援区分

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
入 居	0	1	0	2	2	5
体験利用	0	0	1	6	5	12
4. 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 居 者	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
体験利用者	6	7	6	6	6	5	6	4	6	6	6	6	70
延利用者数	152	158	148	164	134	153	161	144	160	152	150	156	1,832
前年度	159	157	150	161	152	155	169	171	159	152	151	161	1,897

平均利用者数 5.0人
5. 会議研修等 センター「かさはら」と合同で行った。

令和7年度 ワークス伊自良 事業報告書

障害者自立支援法による障害福祉サービス事業の実施

- (1) 就労継続支援B型事業所として以下の事業を実施した。
通常の実業所に雇用されることが困難な障害者につき、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の提供を通じて、その知識及び能力の向上のため必要な訓練等の便宜を供与した。
- (2) 感染症に伴う対策を継続しながら工賃向上に向けた取り組みを各部門で行ったが、物価高騰などの影響は大きく、依然として原材料費が嵩んでいる。
 - 企業から委託された商品生産部門では、より企業での労働環境に近い生産体制を整え、利用者の労働に応じた工賃を支給できる体制作りを行ってきた。社会情勢の変化も大きく厳しい状況が続いていたが、徐々に受注量が増えてきており、利用者の状態を見ながら仕事量を調整している。
 - 食品部門（パンスイーツ部門）では原材料費の高騰が続く中、価格変更や原材料の見直しを図る等行い物価高騰の影響を最小限に抑えるよう努めたが、厳しい状況は続いている。
 - レインボーハウスにおいては原材料費の高騰と従業員の労働環境の整備を合わせて価格改定等を行ってきた。
 - ブルーベリー栽培農園の運営及び、果実の収穫販売や商品化の研鑽に努め、事業運営確立に取り組んだ。
収穫期に猿の被害を受けた経験から電気柵を設け、被害を最小限に留めることができた。
 - 7年3月より平和堂高富店にて「kokocafe」を新規オープンし利用者工賃の向上に繋がるよう新たな就労場所として事業を開始した。
一年経過して認知度も高まり常連の顧客も増えている。今後も利用者就労支援を継続しつつ、地域に愛される店舗を目指していく。
- (3) 事業所単独での夏祭り、クリスマス会を実施し、利用者さんの好評を得た。
- (4) 日帰り旅行の実施
年度末(3月)に日頃の慰労と労働意欲の向上に繋がるよう日帰り旅行(ラ・コリーナ近江八幡)を実施した。

1. 地域別利用者数

岐阜市	山県市	関市	各務原市	大垣市	本巣市	計
22	13	1	1	1	1	39

2. 月別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男 性	28	28	27	27	28	28	28	28	28	29	29	29	337
女 性	9	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10	114
計	37	37	36	36	37	37	38	38	38	39	39	39	451

※実習者の受け入れ 桜美寮1名 伊自良苑4名

3. 年齢別利用者数

[令和7年03月31日現在]

	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	計	平均年齢
男 性	0	2	4	2	5	16	29	57.9
女 性	0	1	2	0	3	4	10	57.4
計	0	3	6	2	8	20	39	57.5

4. 支援サービス別利用者数(定員)

就労継続支援B型	40 名
----------	------

5. 事業別利用者数

食 品					下 請	
作業棟(食品関係)	kokocafe	喫茶レインボー	パン・スイーツ	ブルーベリー・外作業	下 請 け	プラスチック関係
12	1	3	3	3	12	5

6. 年間主要行事

- ・夏祭り(8月)
- ・クリスマス会 (12月)
- ・日帰り旅行(3月)

7. 会議研修等

- (会議)
- (研修)
- ・職員会議
- ・障害者支援関係研修派遣
- ・就労支援会議
- ・就労支援関係研修派遣
- ・権利擁護・虐待防止委員会
- ・身体拘束廃止委員会

令和7年度「生活の家桜美寮」 事業報告書

1. 総括

1. 個別支援プログラムに基づき、集団生活の中にあってもより個々のニーズに対応することを意識し実践した。
2. 施設全体の行事等の取り組みが減少しているが、利用者の意向に基づき個別やグループの外出支援を行った。
3. 利用者の権利擁護推進に重点を置く取り組みの他に、法人内別事業所と虐待防止研修を実施した。
4. 感染症対策マニュアルの整備に取り組み、感染が認められた場合はマニュアルに沿った対応を実行した。
5. 9月と3月に館内で感染症が蔓延し、拡大を防ぐことを目的とした日課提供で対応した。
6. BCPを作成し、災害などの非常時における対応を周知できる体制を整えた。
7. 法人外の事業所と支援の場で活かせるような情報や意見の交換に取り組んだ。

2. 生活介護・施設入所支援利用状況(延人数)

生活介護定員60・現員53 施設入所支援定員50・現員50

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活介護	入所	1,013	1,090	1,090	1,115	1,145	1,048	1,106	1,064	1,072	1,078	954	1,055	12,830
	通所	79	81	91	91	63	75	99	57	85	74	100	109	1,004
入所支援		1,377	1,469	1,481	1,457	1,431	1,415	1,490	1,428	1,439	1,437	1,326	1,423	17,173
合 計		2,469	2,640	2,662	2,663	2,639	2,538	2,695	2,549	2,596	2,589	2,380	2,587	31,007

ショートステイ利用状況(延日数)

ショートステイ定員4

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
岐阜市		4	7	1		2		2				4	6	26
山県市		2									5	14	2	23
本巣市		2	2	2		2	2	2						12
														0
合 計		8	9	3	0	4	2	4	0	0	5	18	8	61

日中一時支援利用状況(延件数)

※ 契約自治体～岐阜市・山県市・本巣市・瑞穂市・大野町

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
岐阜市		5	21	31	25	18	22	19	19	19	19	3	0	201
														0
														0
														0
合 計		5	21	31	25	18	22	19	19	19	19	3	0	201

3. 年齢別利用者状況

(令和8年3月31日現在)

		15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	合計	平均年齢
入所	男	0	2	1	4	9	8	2	2	28	56.5
	女	0	2	1	1	8	2	3	3	20	59.0
通所	男	0	1	2	0	0	0	0	0	3	38.5
	女	0	0	0	1	1	2	0	0	4	52.7
合 計		0	5	4	6	18	12	5	5	55	56.6

※ 最年少利用者20歳・最高齢利用者90歳

4. 年間行事等状況

	行 事 内 容
4月	作業所食事会(4日)
5月	血液検査(8日)・検尿&レントゲン(9日)
6月	小グループ外出(18,27日)
7月	・七夕食事会(6日)・小グループ外出(23,30日)
8月	・地域の祭り参加(3日)・小グループ外出(29日)
9月	・地域の祭り参加(13日)・小グループ外出(25,26日)
10月	・地域の祭り参加(5日)・小グループ外出(14～15日)
11月	・保護者同伴日帰り旅行(18日)・山県市イベント参加(19日)
12月	・小グループ外出(12日)・クリスマス会(21日)
1月	・成人を祝う会(11日)・訪問販売(18日)・小グループ外出(18,22,27日)
2月	
3月	・地域交流共生コンサート(20日伊自良コミュニティセンター)・フロア食事会

定例行事 誕生会(毎月第4日曜日)

5. 会議・研修会等

【会 議】

運営委員会	12回	職員会議	10回	支援スタッフ会議	10回	部署会議	24回
研修委員会	1回	食事委員会	12回	虐待防止対策委員会	6回	各種係会議	4回
行事委員会	1回	広報委員会	1回	BCP策定委員会	1回	感染対策委員会	4回

【研 修】

■外部研修(抜粋)		■寮内研修(抜粋)	
・自閉症について	3名	介護実践研修(5/1)	16名
・救命講習(9/18)	13名	緊急搬送研修(5/30,6/8)	30名
・強度行動害フォローアップ研修(10月)	2名	個別支援計画(7/14)	12名
・全国知的障害関係職員研究大会(10月)	1名	排泄ケア研修(8/4)	8名
日中活動支援部会(2/7)	1名	虐待防止研修	19名
■法人研修		BCP研修	13名
・初任者研修(5/18)	2名	※毎月1回グループディスカッションを実施	
・ステップアップ研修②(7/20)	2名		
・ステップアップ研修③(9/28・10/19)	2名		
・事例研究発表会(11/16)	5名		
・幹部研修(2/22)	3名		

6. 職種別職員数

(令和8年3月31日現在)

	施設長	S管理責任者	生活 支援員	看護師	栄養士	事務員	業務員	医師			合計
常 勤	1	1	21	2	1	1	0	0			27
パート等	0	0	14	1	0	0	1	0			16
嘱 託	0	0	0	0	0	0	0	2			2
合 計	1	1	35	3	1	1	1	2	0	0	45

令和7年度桜美寮デイサービスセンター事業報告書

(1) 総括

・介護者のつどいのプログラムで【転倒時の対応方法】について、機能訓練士、介護士、介護者が一緒になって床からの立ち上がらせ方などを実践形式で勉強会が実施できた。

・【BCP】の取り組み。地震を想定した避難訓練を実施した。地震速報が聞こえない、しゃがめない、頭巾がかぶれないなどの問題点の洗い出しができた。

・在宅介護支援事業所に対してデイサービスに求める事、期待することを中心にアンケートを実施し選ばれる施設になるための取り組みを少しずつはじめることができた。

・LIFEのフィードバック資料を職員間で共有できた。

・稼働率90%を目標として事務所に掲げたことで空きが出た場合の対応など全職員が意識することができた。

(2) 利用状況(予防利用者含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
利用実績人数	679	664	629	669	641	677	706	654	702	616	598	601	7,836
利用実績率(%)	87	82	84	83	82	87	87	87	87	86	83	77	84

(3) 登録人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	比率%
総合事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
予防支援 ①	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	2%
予防支援 ②	5	5	5	6	6	5	6	6	6	6	6	5	10%
介護度 1	27	25	23	22	21	20	19	17	18	20	20	20	38%
介護度 2	14	16	13	12	13	13	16	15	15	12	12	11	21%
介護度 3	10	10	13	13	11	11	11	14	12	12	12	10	19%
介護度 4	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	8%
介護度 5	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2%
合 計	60	60	57	57	54	53	57	57	57	56	56	52	100%

(4) 1日平均利用人数(予防利用者含む) (定員 30名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
本年度実績	26.1	24.6	25.2	24.8	24.7	26	26.1	26.2	26	25.7	24.9	23.1	25.3

(5) 時間延長利用者 《平成16年4月より開始》 (時間 16:15～18:15)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
時間延長利用者	237	255	257	267	254	245	249	231	248	226	218	217	2,904
一日平均人数	9.1	9.4	10.3	9.9	9.8	9.4	9.2	9.2	9.2	9.4	9.1	8.3	9.4
夕食利用者	238	257	257	267	254	247	252	234	248	227	218	217	2,916
一日平均人数	9.2	9.5	10.3	9.9	9.8	9.5	9.3	9.4	9.2	9.5	9.1	8.3	9.4

(6) 宿泊利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
宿泊利用者	0	1	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	6

(7) 1週間の利用回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	比率%
1回	7	7	7	6	6	3	4	4	5	5	4	4	8%
2回	19	20	18	20	17	18	20	19	16	17	17	15	32%
3回	18	17	18	18	16	19	19	20	21	19	19	17	30%
4回	12	12	9	9	10	8	8	9	9	7	7	8	20%
5回	1	1	3	3	3	4	3	3	3	4	4	5	2%
6回	3	3	2	2	3	3	3	3	3	4	5	4	5%
合計	60	60	57	58	55	55	57	58	57	56	56	53	100%

(8) 年齢別利用人数 (3月)

年 齢	～64	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	100～	合計	平均年齢
人 数	0	1	0	4	12	19	12	4	1	53	87.2

(9) 職種別職員数

	施設長 (兼務)	生活 相談員	ケア ワーカー	看護師	機能 訓練士	運転手	合計
常勤	1	2	4	2	1		10
パート等			3	1	1	3	8
合計	1	2	7	3	2	3	18

(10) 行事及びレクリエーション

行 事

毎月実施 誕生会、音楽レクリエーション、墨絵(宮田様)、俳句(鳥澤様)、習字、ネイルイベント
季節の作品作り、喫茶さくら
グループ活動(運動・学習・ゲーム・作品作り)

4月 機能訓練外出(伊自良湖)
5月 子供の日(ゲーム)、おやつ作り(フルーツポンチ)、機能訓練外出(長良公園)、夢外出(安田様)
6月 おやつ作り(雪見大福トースト)、買い物外出(ビッグ他)、パチンコイベント
7月 七夕会(紙芝居他)、おやつ作り(白玉だんご小豆かけ)、夢外出(ふみこ様)
8月 夏まつり(3日間)
9月 敬老会(3日間)
10月 運動会(2日間)
11月 伊自良文化祭見学、訓練外出(岐阜公園)、夢外出(信夫様)
12月 忘年会(3日間)、クリスマス会(くじ引き)、三味線と芸者さんの踊り
1月 新年会(2日間)
2月 節分(ゲーム)、手作りおやつ(白玉ぜんざい)、バレンタインデー
3月 ひな祭り会(ゲーム)、ホワイトデー、手作りおやつ(いちご大福びな)

ボランティア

- ・宮田様(墨絵)
- ・鳥澤様(俳句)
- ・咲田様(三味線と踊り)

(10) 研 修

《法人・外部研修》			《施設内研修》		
		4月28日	倫理及び法令遵守・避難訓練の反省		
5月19日	共に創る山県市の未来	5月30日	認知症ケアについて		
		6月27日	入浴ケアについて		
		7月29日	災害時・緊急時の対応について		
8月6日	紙おむつの選び方・使い方	8月28日	感染症について		
		9月26日	不適切ケアについて		
10月18日	人事考課研修	10月29日	接遇に関する事		
		11月27日	LIFEに関する事		
		12月26日	介護技術研修		
		2月4日	虐待防止ディスカッション		
2月13日	BCP委員会研修	2月25日	令和8年度事業計画について		
3月26日	働きやすい職場作り	3月30日	ハラスメント対策について		

(11) 会議

デイ会議	毎月1回	ケア会議	随時
運営会議	〃	サービス担当者会議	随時
食事委員会	〃	感染防止委員会	年6回
虐待防止委員会	〃		

令和7年度 障害者総合生活支援センタークロス 事業報告

それぞれの事業内容に即して地域の障害児者やその家族、関係支援機関等に対して、地域生活に関するニーズに応え、相談支援や生活支援、就労支援等を実施した。

1. 各事業実施状況

【岐阜圏域委託相談支援事業】

岐阜圏域の4市町の委託を受けて事業を実施してきた。地域の様々な相談に応じて必要に応じた支援を図ったり、地域自立支援協議会やケース会議の主催・参加、福祉サービスの情報提供等などを行った。

【本巣市相談支援事業】

本巣市からの委託を受けて事業を実施してきた。自立支援協議会への参加、主に困難ケースに対する助言等を行った。

■相談支援実績

市町	羽島市	瑞穂市	北方町	岐南町		本巣市			合計
延件数	0	0	2	0		2			4

■活動実績・研修

- ・自立支援協議会(羽島市、瑞穂市、岐南町、北方町)
- ・本巣市自立支援協議会
- ・相談支援に関する研修会参加 計 20 回

【指定特定相談支援事業(計画相談)】

障害福祉サービスの新規利用、更新手続きの際に、利用者のニーズを確認してサービス等利用計画を作成した。その計画に基づいて市町がサービス利用量等を支給決定される。計画を作成した利用者には、サービスの利用状況についてモニタリングを実施した。

■利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規・更新	16	15	10	8	11	11	9	11	13	7	9	11	131
モニタリング	47	46	64	42	64	53	50	49	61	42	64	49	631
月件数	63	61	74	50	75	64	59	60	74	49	73	60	762

【岐阜市基幹相談支援サテライト事業】

障がいのある方、その家族及びその関係者がより相談しやすい環境や相談支援の質の向上を目的として、地域において中核的な総合相談窓口となる基幹相談支援サテライトを市内に4ヶ所設置している。

総合的、専門的な窓口として初期相談に対応したり、地域の相談支援体制の強化を目的とした岐阜市総合支援協議会や学習会の運営を行っている。

■実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
個別相談	58	58	63	63	62	64	57	62	63	63	53	65	731
関係機関との連携	9	30	9	30	29	15	32	32	11	10	9	25	241
月件数	67	88	72	93	91	79	89	94	74	73	62	90	972

2. 職員配置

	管理者	主任相談支援専門員	相談支援専門員	計
人 数	1	2	1	4

令和7年度特別養護老人ホーム椿野苑事業報告書
〔定員～従来型特養60名・地域密着型(ユニット)特養20名・ショートステイ20名〕

①事業全般

3月下旬より、ユニット内にて類似した風邪症状の入居者が複数名確認されたため、速やかに感染症対策を実施した。
また、4月6日よりショートステイ利用者3名の新型コロナウイルス感染が確認されたことを受け、感染拡大防止のため面会制限および行動制限を実施した。
適切な対応の結果、ホーム入居者への感染拡大は認められず、4月15日よりユニットを含めた行動制限および面会制限を解除した。
入退所の状況については、ホームにおいて入所28名・退所28名、ユニットにおいて入所9名・退所10名であった。
待機者数については減少傾向にあり、現在は30名弱となっている。この状況を踏まえ、運営委員会において施設の認知度向上を目的としたPR活動の強化について検討を行った。
地域連携の取り組みとしては、地域とのつながりの再構築を目的に、たかとみこども園との交流会の実施や、地元自治会との関係強化に向けた取り組みを計画している。

②主な年間行事

4月 お花見弁当	7月 花火鑑賞	10月 うなぎ祭り	1月 書初め 鏡開き
5月 運動会	8月 花火大会	11月 フルーツバイキング	2月 100歳の誕生日会
6月 流しそうめん	9月 焼き芋	12月 デコレーションケーキ作り	3月 フルーチェ

③月別入居利用者の状況 延人数(従来型特養) 《平均介護度 4》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	10	0	316
要介護3	556	598	600	590	548	503	570	509	495	496	539	602	6606
要介護4	532	549	570	532	448	512	582	559	581	620	477	537	6499
要介護5	640	655	595	682	722	669	629	613	667	682	644	688	7886
計	1758	1833	1795	1835	1749	1714	1812	1711	1774	1829	1670	1827	21307
稼働率	97.6	98.5	99.7	98.6	94	95.2	97.4	95.1	95.4	98.3	99.4	98.2	平均 97.3
前年稼働率	96.8	98.8	99.5	97.5	97.3	98.6	97.8	99.3	99.1	92.4	96.4	96.4	平均 97.4

④月別入居利用者の状況 延人数(地域密着型特養) 《平均介護度 4》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護2	0	0	0	0	0	30	2	0	0	0	0	0	32
要介護3	133	167	180	186	198	190	230	240	248	248	196	217	2433
要介護4	155	176	210	225	248	210	179	180	180	185	196	186	2330
要介護5	270	238	210	206	169	150	168	180	186	186	168	186	2317
計	558	581	600	617	615	580	579	600	614	619	560	589	7112
稼働率	93	93.7	100	99.5	99.2	96.7	93.4	100	99	99.8	100	95	平均 97.4
前年稼働率	98	96.2	98.5	98.8	96.9	96.8	95.3	92	99.3	93.7	93.9	99.1	平均 96.5

⑤年齢別入居利用者数

	60～	70～	80～	90～	100～	合計	平均年齢
男性	1	4	5	6	0	16	87歳
女性	1	6	27	29	1	64	

⑥ショートステイ月別利用者数(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3
要支援2	0	0	0	0	10	2	0	0	0	0	0	7	19
要介護1	11	26	12	16	21	55	51	45	52	59	59	67	474
要介護2	122	130	115	140	149	108	113	119	173	163	154	208	1694
要介護3	212	180	202	232	242	271	317	287	251	207	138	122	2661
要介護4	196	189	191	205	161	61	86	85	127	130	169	156	1756
要介護5	30	61	30	31	45	40	49	31	34	37	35	69	492
計	571	586	550	624	628	540	616	567	637	596	555	629	7099
稼働率	95.2	94.5	91.7	100.6	101.3	90	99.3	94.5	102.7	96.1	99.1	101.4	平均 97.2
前年稼働率	95.8	97.7	93.8	100.1	88.5	99.8	98.2	88.8	94.6	86.9	98.7	100	平均 95.2

⑦職員配置

	施設長	事務長	事務員	管理栄養士	施設ケアマネ	介護職員	主任生活相談員	看護師	配置医師	計
正規	1	1	1	1	2(兼務)	47	1(兼務)	4		50
非正規					1	10		3	1	12

⑧会議関係(優先入所検討委員会～随時・地域密着型特養推進会議～年4回・以外の会議は1回/月)

運営委員会	ケース会議	行事委員会	研修委員会
職員会	看護師会議	リスクマネジメント委員会	感染症予防委員会
優先入所検討委員会	褥瘡予防委員会	身体拘束廃止委員会	看取り介護委員会
地域密着特養推進会議	排泄介護検討委員会	生産性向上委員会	口腔ケア委員会
虐待防止委員会	労働衛生委員会	労働衛生委員会	

⑨研修会関係

- 5月 法人初任者研修
- 6月 法人ステップアップ①研修
- 6月 看護協会主催の研修
- 6月 認知症介護実践者研修①
- 7月 認知症介護実践者研修②
- 7月 床ずれ対策セミナー
- 8月 法人ステップアップ②研修
- 8月 成年後見制度理解促進研修
- 9月 救急看護研修
- 9月 成年後見制度研修
- 9月 中堅者研修
- 10月 認知症介護実践者研修③
- 11月 法人ステップアップ③研修
- 11月 高齢者施設での感染対策研修
- 11月 高齢者のスキンケア研修
- 12月 福祉サービス苦情解決研修
- 12月 介護人材育成研修
- 1月 法人事例研究発表会
- 2月 法人現場リーダー・幹部研修
- 2月 BCP策定研修

令和7年度椿野苑デイサービスセンター事業報告書

(1) 総括

・今年度も『選ばれるデサービスを目指して』を目標に掲げて取り組みました。利用者や家族の困っていることに可能な限り対応し、満足を得ることに重点をおおいて実施してきました。利用者にもっと楽しい時間を提供できないかを考えて、例年の行事に加えて、日頃行わないイベントとしてわくわくデイをもう一日設けて楽しいイベントを企画して提供しました。ボランティア慰問も取り入れ尺八演奏会やウィンドハーモニーの演奏会を行ったり、クイズラリーやミニレクを実施して皆さんで多くのクイズやレクを行うイベントも新たに行いました。初めてで出来るのか心配していましたがどなたも積極的に参加され「楽しかったよ」との声を多く頂きました。楽しく過ごして頂いてまた来たいと思って頂ける様にと考え企画して良かったと感じました。また利用者からの声を取り入れたこととして移動販売の実施も行いました。日頃買い物へ出掛けることが出来ない、自分で見て買い物がかたいとの声に答えることが出来て、利用される方に喜んで頂いています。今後もこれまでにない企画も実施しながら楽しい時間を提供できる様にしていきたいと考えています。

・利用者獲得が重要課題であり、体験利用者を受け入れ新規契約へと結び付く様にPRを重ねてきました。しかし長期入院や施設入所へと移行される方もみえ利用者数増加へと結び付けることが出来ませんでした。更なる利用者獲得へ向けて関係各所や地域へのPRも強化し、新規利用者獲得へアピールを強めていきたいと考えています。

(2) 利用状況(予防利用者含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用実績人数	684	691	626	639	529	601	568	499	577	496	493	548	6,951	579.25
利用実績率(%)	88%	85%	84%	79%	67%	77%	70%	66%	72%	69%	69%	70%		75%
前年利用実績率(%)	88%	87%	86%	91%	90%	88%	91%	92%	88%	76%	84%	83%		87%

(3) 登録人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3
予防支援 ①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防支援 ②	5	4	5	5	5	5	4	4	5	5	5	4	56
介護度 1	23	24	24	24	24	22	22	22	23	22	24	24	278
介護度 2	19	18	17	17	18	18	19	17	15	15	14	11	198
介護度 3	8	7	8	8	6	5	5	4	5	5	4	9	74
介護度 4	5	5	4	3	3	4	4	5	6	4	4	4	51
介護度 5	2	2	2	2	1	2	2	1	2	1	0	0	17
合 計	62	60	60	59	57	56	56	53	56	53	52	53	677

(4) 1日平均利用人数(予防利用者含む) (定員 30名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
本年度実績	26.3	25.6	25	23.7	20.3	23.1	21	20	21.4	20.7	20.5	21.1	22.4
前年度実績	26.4	25.9	25.8	27.2	27.2	26.4	27.2	27.7	26.5	22.8	25.3	25.7	26.18

(5) 年齢別利用人数 (3月)

年 齡	～64	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	100～	合計	平均年齢
人 数	0	1	2	2	7	19	13	7	1	52	87.35

(6) 個別機能訓練 平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
本年度実績	23.7	23.1	21.8	20.7	18.3	20.6	19.1	17.9	18.8	18.9	18.5	19	20.0
前年度実績	22.3	21.4	21.9	23.4	23.5	23.6	24.3	24.8	24.2	21	22.7	24	23.1

(7) 職員構成

職種名	センター長		生活相談員		機能訓練指導員		ケアワーカー		看護師		管理栄養士	
	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
常勤(人)		1	1	2	1		7	2		2		1
非常勤(人)					2		2	1				
常勤加算後の人数(人)	0.3		1.2		2.17		9.94		1.02		0.2	

(8) 行事及びレクリエーション

行事 各種レク・季節事の創作・誕生会・体操・防災訓練

	〔行事〕	〔わくわくデイ〕
4月	花見弁当	ボランティア慰問(演奏会)
5月	お料理会(みかんゼリー)	クイズラリー
6月	お料理会(五平餅)	クイズラリー
7月	クラフト作り(うちわ)	ミニレク
8月	夏祭り	クイズラリー
9月	敬老会	キッチンカー(あんみつ)
10月	ハロウィンイベント	クイズラリー
11月	運動会	ボランティア慰問(演奏会)
12月	クリスマス忘年会	保育園児との交流会
1月	新年会	調理クラブ
2月	バレンタインイベント	クイズラリー
3月	お花見弁当	ミニレク

(9) 研修 《法人・外部研修》

[illegible]

(10) 會議

デイ会議	毎月1回
運営会議	〃
各委員会	〃

令和7年度 同朋会在宅介護支援センター 事業報告書

同朋会在宅介護支援センター

1. 要援護老人・要介護認定非該当者および介護者からの相談事業

2. 介護保険要支援者・要介護者を対象とする特定事業所Ⅱ算定事業所としての中立公正で適切なケアプラン作成、モニタリング等の居宅介護支援事業の実施。
利用者情報及び留意事項伝達等を目的とした会議を週1回開催、24時間連絡体制の確保、居宅介護支援事業所の必須研修の受講や個人研修の実施、困難事例の受け入れ等、特定事業所Ⅱを算定している事業所として、自己研鑽と法令順守に努めた。
本人や家族、サービス事業所等との通信機器を用いた情報収集、状況改善に向けた取り組みを継続して行い、本人の生活第一に考えた支援の実施に取り組んだ。
高齢者虐待や権利擁護等に関わる問題が発生した時は、地域包括支援センターや関係機関と連携して対応した。
主任介護支援専門員が4人になり、地域包括支援センターと協働して地域の介護支援専門員の中心的役割を担っていくために、新たに事業所内でスーパービジョンを年3回行った。
次年度も特定事業所Ⅰを算定を目標に掲げていくが、算定要件(要介護3～5で40%以上)を満たす事は難しく、利用者を介護度で選ぶ事も困難である。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	159	165	161	165	161	159	157	155	155	150	148	136	1871
介護予防	50	49	48	47	48	48	47	48	46	45	48	47	571
合計	209	214	209	212	209	207	204	203	201	195	196	183	2442
前年度計	211	208	209	207	208	220	223	219	223	224	213	212	2577

※3月は申請中2名(要介護見込み)あり、実績は+2件

※令和7年5月からケアマネジャー1人減

内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事業対象者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
要支援①	12	12	12	12	12	14	14	14	13	13	15	15	158
要支援②	35	34	33	32	33	31	30	31	30	29	30	29	377
要介護1	66	67	64	64	60	57	57	58	58	58	58	58	725
要介護2	45	49	46	47	48	48	49	47	48	47	46	43	563
要介護3	31	30	32	32	32	32	32	28	28	29	28	24	358
要介護4	13	14	13	15	13	12	11	14	12	11	12	8	148
要介護5	4	5	6	7	8	10	8	8	9	5	4	3	77
合計	209	214	209	212	209	207	204	203	201	195	196	183	2442

居宅介護支援 加算算定

	加算名目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
421点	特定事業所加算	159	165	161	165	160	159	157	155	155	150	148	136	1870
300点	初回加算	6	5	5	6	2	10	4	11	5	2	3	7	66
250点	情報提供加算Ⅰ	3	1	3	6		2	3	3	2	4	1	2	30
200点	情報提供加算Ⅱ	1	2	2	1	3	2	4	2	3	2	1		23
50点	通院時連携加算											1		1
450点	退院退所Ⅰイ		1			1			3	2	3	1		11
600点	退院退所Ⅱイ													0
600点	退院退所Ⅰロ	1	1	1		1	2							6
750点	退院退所Ⅱロ								1					1
900点	退院退所Ⅲ													0

4. 山県市からの委託による介護認定訪問調査実施・・・59件／年
〃 要支援者個別避難計画作成・・・2件／年

5. 介護支援専門員実務研修見学実習生の受け入れ

特定事業所Ⅱ算定事業所として、6月、7月に3日間介護支援専門員実務研修見学実習受入

※来年度からは受け入れ対応の報酬なし

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4000円	認定調査	5	5	5	5	4	5	4	3	5	4	4	10	59
5000円	避難計画											2		2
4000円	実習受入				2									2

6. 山県市ケアプラン支援協働事業（自立支援に向けたスーパービジョン） 年3回
主任ケアマネを5人中4人取得(1人は今年度取得)しており、スーパービジョン研修においてスーパーバイザーを担い、地域のケアマネジメント資質向上に努めた。

7. 山県市介護予防地域ケア会議 年1回
(介護予防で複数のサービスを利用されている方のプランを市が2事例を条件抽出)
今年度は当事業所での担当者該当なかったが、会議を見学し各自の支援に活かす。

8. 会議研修等参加状況

【会議】

- ・同朋会在宅介護支援センター情報伝達・連携会議 週1回 内容:「地域資源について」
- ・山県市ケアマネ連絡会、主任ケアマネ部会の会議 各1回／年

【苑内・市内研修】

- ・同朋会在宅介護支援センター内研修、勉強会
内容: スーパービジョン年3回
ケアプラン自主点検
山県市医療介護連携システム伝達
Web研修「地域共生社会と生活困窮者支援」
地域資源について
Web研修「ケアプラン連携システム」
Web研修「難病支援」
BCP机上訓練
- ・山県市ケアプラン点検事業（粟田）
- ・山県市医療介護情報システム導入説明会（田中、石原）
- ・山県市認知症講演会（中村、粟田、大嶋）
- ・山県市事業者連絡協議会研修 年2回
- ・山県市介護保険・障がい福祉合同勉強会
- ・山県市内3法人居宅支援事業所合同研修会
- ・山県市集団指導（田中、中村）

【市外研修】（個人研修含む）

- ・見学実習生指導者研修（石原）
- ・介護給付適正化研修会及び訪問介護強化事業圏域会議（田中）
- ・介護報酬改定読み解き研修（田中、中村）
- ・介護サービス質の向上研修会（粟田）
- ・岐阜県居宅介護支援事業協議会 春季、秋季研修会（中村、大嶋）
- ・岐阜県居宅介護支援事業協議会 相談援助、ケアマネジメント、給付管理研修
- ・主任介護支援専門員研修(12日間)（粟田）
- ・主任介護支援専門員更新研修(8日間)（中村）
- ・地域高齢者のフレイル予防のための地域関係機関等との連携会議（粟田、大嶋）
- ・高齢障がい者のための障がい福祉・介護関係者連携研修（田中）

■苑内外の研修で下記の居宅介護支援事業所の必須研修を受講

- ①認知症及び認知症ケアに関する研修
- ②プライバシーの保護の取組に関する研修
- ③倫理及び法令順守に関する研修
- ④高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修
- ⑤業務継続計画(BCP)に関する研修、訓練
- ⑥感染症予防及びまん延防止訓研修、訓練
- ⑦ハラスメント対策研修

9. 各委員会参加

委員会	開催日	委員
研修・生産性向上	第2(月)	石原
身体拘束・リスクマネジメント	第2(金)	粟田
排泄・感染症	第2(火)	中村
看取り・褥瘡	第2(水)	大嶋

委員会	開催日	委員
口腔ケア	第1(月)	田中
運営委員会 労働衛生委員会 虐待防止検討委員	第4(木)	田中 中村

令和7年度山県市南部地域包括支援センター事業報告書

法人名	社会福祉法人 同朋会
センター名称	山県市南部包括支援センター
管理者氏名	山口 和孝

地域包括支援センター人員配置		
①	センター長	1 名
②	管理者	1 名
③	保健師等	1 名
④	社会福祉士（兼務）	2 名
⑤	主任介護支援専門員	1 名
⑥	その他職員	2 名
合計		7 名

担当区域基礎データ	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
人口	19,037人	19,325人	19,531人	19,727人
高齢者人口	6,848人	6,818人	6,807人	6,777人
要支援者	272人	250人	253人	235人
ケアプラン作成数	1,846件	2,223件	2,529件	2,360件
内委託件数	651件	1,111件	1,486件	1,220件

※人員配置・人口・高齢者人口・要支援者は、各年度4月1日時点で記載

1 運営方針に基づいた事業展開

・山県市から示された「山県市地域包括支援センター実施方針」に沿って事業展開し、委託業務の実施については「地域包括支援センター運営マニュアル3訂」を基に役割や業務の理解に努めた。今年度は部署内で年間を通じて自立支援型地域ケア会議の勉強会を開催し業務理解に努めた。 ・民生委員定例会への出席、ふれあいサロン、老人クラブでの出前講座や一般介護予防の場へ出向く等、インフォーマルな社会資源の把握やネットワーク構築に努めた。 ・保健と介護予防の一体的実施のため市から情報提供のあったフレイルチェック該当者や健康不明者等に加え、独自事業として要援護者台帳の独居高齢者等の実態把握に努めた。ハイリスク者への早期アプローチに重点をおいて事業を展開し、フレイルチェック該当者134名、健康不明者45名、かんたん体操中断者7名、要援護者台帳登録の独居高齢者113名に訪問し一般介護予防事業や訪問型サービスC事業へつなげることを意識して活動した。
--

2 公正・中立性確保のための方針

・公的な機関であることを常に意識し、公正・中立の立ち位置で対応するよう努めている。 ・介護サービス事業所の選定に関しては、事業所のパンフレットや事業所一覧表、医療介護情報システム等を活用し、ご本人・ご家族のニーズを踏まえ事業所の選定をして頂いている。日頃から各事業所の特徴・特色の情報収集をおこなうことで、選定の際には専門的な立場で助言をおこなっている。特に居宅介護事業所の紹介の際は、空き情報も確認しながらご本人・家族の意向を踏まえ対応し、選定理由を明確にして特定の事業所に偏らないように努めた。
--

3 実績報告

①総合相談支援業務実績

相談内容	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
区 分						
介護保険サービス	272	328	296	263	312	-56
介護保険申請	218	216	232	176	166	2
基本チェックリスト	15	19	7	18	17	-4
施設入所	42	42	34	40	60	0
認知症	69	110	102	106	106	-41
保険・医療	139	204	163	132	96	-65
配食サービス	20	22	12	19	25	-2
障害	7	30	17	29	32	-23
介護予防・市高齢福祉サービス	120	76	39	61	66	44
苦情	2	1	0	2	7	1
権利擁護・成年後見制度	7	9	7	16	17	-2
生活困窮	14	16	6	10	23	-2
高齢者虐待	5	11	5	8	5	-6
介護方法	4	4	9	7	9	0
その他	185	185	164	125	84	0
総 計	1,119	1,273	1,093	1,012	1,025	-154

相談方法	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
電 話	352	414	324	236	181	-62
訪 問	411	373	335	346	440	38
来 所	137	139	165	127	112	-2
総 計	900	926	824	709	733	-26

相談時間帯	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
業務時間内	893	919	818	698	722	-26
業務時間外	2	6	4	9	11	-4
休業日	5	1	2	2	0	4
総 計	900	926	824	709	733	-26

相談者	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
本人	403	326	315	287	350	77
家族	261	285	279	214	205	-24
ケアマネ	45	69	43	47	43	-24
事業者	26	49	38	46	47	-23
主治医	2	12	3	9	5	-10
民生委員	34	33	34	23	17	1
近隣者	7	7	14	12	3	0
知人	5	2	8	2	6	3
行政	47	47	17	32	31	0
医療機関	53	0	0	26	0	53
警察	6	0	0	6	0	6
消防	0	0	0	0	0	0
その他	11	15	11	5	2	-4
総 計	900	845	762	709	709	55

②介護予防ケアマネジメント業務実績

直営プラン作成数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
介護予防支援	851	831	703	707	687	20
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	344	281	340	427	453	63
合 計	1,195	1,112	1,043	1,134	1,140	83

委託プラン数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
介護予防支援	384	694	1,087	1,109	960	-310
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	267	417	399	309	260	-150
合 計	651	1,111	1,486	1,418	1,220	-460
プラン総数（直営＋委託）	1,846	2,223	2,529	2,552	2,360	-377

担当者会議出席数

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
包括分	116	111	137	154	154	5
委託分 ※出席回数	41	64	122	101	63	-23
合 計	157	175	259	255	217	-18

直接契約分23件

③虐待事例への対応実績

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
身体的虐待	2	6	2	5	2	-4
心理的虐待	1	7	2	1	0	-6
性的虐待	0	1	0	0	0	-1
経済的虐待	3	1	0	1	0	2
介護放棄	1	0	1	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0
合 計 ※重複あり	7	15	5	7	3	-8

被虐待者

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
男 性	0	2	1	1	1	-2
女 性	5	9	3	5	2	-4
合 計	5	11	4	6	3	-6

虐待者

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
配偶者	2	5	1	4	2	-3
同居の子	1	6	2	2	1	-5
別居の子	2	1	1	0	0	1
その他	0	2	0	0	0	-2
合 計	5	14	4	6	3	-9

④成年後見制度について

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
成年後見制度相談	2	4	0	8	2	-2
日常生活自立支援事業相談	0	3	3	1	1	-3
合 計	2	7	3	9	3	-5

4 市と協力して実施する事業の取り

①在宅医療、介護連携推進事業の取り組み

・令和7年度も委員として積極的に意見を述べるとともに研修会に参画した。今年度もグループワークは関係者からは概ね好評であったため次年度も継続できるとよい。2月の講演会については諸事情により中止となってしまう、山県市の地域課題が浮き彫りになる残念な結果となった。今年度は情報共有がテーマであったが、アナログとICT等のデジタルツールをどのように活用していくかが今後の課題である。
・センターとしては個別ケースにて医師への助言、連携シートの送付等により連携強化に努めている。年度替わりには医療機関に挨拶に出向き包括の活動や役割周知に努めた。特定の医療機関の医師や薬局等から直接連絡をもらうことが増え、地道であるが連携強化がすすんでいると感じている。

②生活支援体制整備事業の取り組み

・市と生活支援コーディネーター(SC)とのプロジェクト会議に出席し連携強化を行うことができた。生活支援体制整備事業については、市・包括・SCともに事業への理解不足が有り、一旦仕切り直しの年度となった。市の担当者の方の尽力やアドバイザーの助言もあり少しずつ規範的統合が進んできたように感じている。
・ふれあいサロンや老人クラブ、認知症カフェ等へ出向き出前講座を年間17回実施し、介護予防やACP、権利擁護意識の普及・啓発を行うことができた。住民の互助活動について意識啓発を高める講座を実施したが、実施回数が少なかった。当事業への意識づけもねらい次年度も継続実施できるように取り組みたい。
・ネットワーク構築の一環として、支所、公民館、金融機関、新聞店等にも定期訪問して地域包括支援センターの周知活動をおこなっている。定期的な訪問活動や研修の成果もあり、特定の機関から安否確認、認知症疑い等の情報提供を頂け早期発見・早期介入につながっている。

③認知症総合事業の取り組み

・総合相談で認知症が疑われる場合は「認知症安心ガイドブック」を積極的に活用し、認知症の支援・家族の認知症の理解に努めた。市民向けにも老人クラブやサロン等での出前講座により認知症の理解の普及・啓発に取り組んだ。
・認知症地域支援推進員の活動として市と協働し、認知症カフェの運営支援をおこなった。毎月職員を派遣しミニ講座や個別の相談対応をおこなった。新たに市で3ヵ所認知症カフェが立ち上がることにつながったことは資源開発の面からも大きな成果と感じている。今後も運営支援する中で、認知症カフェの在り方やビジョン等、カフェの支援者と一緒に学び・共有していくことが必要である。
・認知症サポーター養成講座については、伊自良南小、郵便局の2ヵ所で実施があった。年間の開催数としては昨年度より減少しているため、さらなるPR活動が必要である。昨年に引き続き2～3月に圏域内の小学校7校にPR活動にまわった。

④地域ケア会議の実施

	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	R7←R6増減
地域ケア会議 開催回数	2	9	6	7	6	-7
合 計	2	9	6	7	6	-7

・包括主催の地域ケア個別会議を2ケース開催した。世帯の生活困窮の問題から虐待も疑われるケースであった。開催を機にネットワーク構築がなされ、支援方針を検討することができた。次年度も包括内のケースに留まらず、ケアマネからの相談のあったケースの中から適切なケースがあれば個別ケア会議の実施を検討したい。
・市主催の自立支援型の地域ケア会議が2ケース開催があった。訪問C型の検証をするためにケースの提供をおこなった。次年度も訪問C型サービスも積極的に利用してサービスを育てる姿勢を持ちたい。地域ケア会議の運営については市の担当者に頼りすぎず、適切に役割分担をしていきたいと考えている。
・全国的にも身寄りのない高齢者が増えており、包括に求められる役割が大きくなると思われる。次年度は具体的なケースの検討に加え、山県市ではどのように支援体制を構築していくのかを行政と一緒に考えていきたい。

令和7年度人材育成・確保に関する事業の事業報告

(事業名)

人材育成・確保に関する事業

(事業の目的)

福祉人材の事業所においては、慢性的な人材不足がますます厳しくなっているのが現状であります。
このことを解決する方策として、介護福祉士の資格取得を目指す外国人が直接又は、日本語学校を通じて介護福祉士養成施設に留学するケースが見込まれることから中部学院大学、及び中部学院大学短期学部と連携して就学に関わる費用全般の支援を行うことを目的とする。

(事業の概要)

事業所連携型外国人留学生受入れ事業《B型》

＜目的＞

- * アジアの国々の共通課題である高齢化対策、介護・福祉人材の育成を通して貢献すること。
- * 外国人留学生の日本での就学や資格取得、及び卒業後の就労をサポートし、外国人就業者としての活躍を支援すること。

＜業務分担と連携事項＞

- * 事業所は当事業に参加する留学生の留学手続き、渡航準備等のサポート。
- * 事業所は来日した留学生の日本国内における経済的支援、就労支援、生活支援等を行う。
- * 事業所は来日した留学生の様々な問題に対応するため、学生への定期的な連絡と指導、及び問題解決に向けた協力を行う。

(事業の運営)

- * 事業所は当事業の運営に携わる担当者様をおき、担当者による連絡会を定期的に行う。連絡会においては次の事項を協議する。
 - ①留学生の募集と受入れに関する計画やスケジュールの調整と決定
 - ②在学中の留学生に関する情報交換
 - ③その他、事業の運営に関すること

(留学生の受入れ状況)

2018年度＝ 4名[男1名 女3名](留学先:中部学院大学部 別科)
2019年度＝ 1名[男0名 女1名](留学先: 同 上)
2020年度＝ 1名[男1名 女0名](留学先: 同 上)
2022年度＝ 2名[男1名 女1名](留学先: 同 上)
2022年度＝ 2名[男1名 女1名](留学先:中部学院大学部 秋別科)
2023年度＝ 4名[男3名 女1名](留学先:中部学院大学部 別科)
2023年度＝ 3名[男1名 女2名](留学先:中部学院大学短期大学部)
2024年度＝ 1名[男0名 女1名](留学先:中部学院大学部 別科)
2025年度＝ 3名[男2名 女1名](留学先:中部学院大学短期大学部)
2025年度＝ 5名[男4名 女1名](留学先:中部学院大学部 別科)
合計 ＝ 26名[男 14名 女 12名](令和8年3月31日現在)

令和7年度(2025年度) 美山荘事業報告書

①総括

- 1 個別援助計画に基づき、利用者の養護の万全に期すると共に生きがいの発見、助長に努めた。
- 2 地域社会との交流を深め、高齢者(地域)のセフティーネットや総合相談窓口としての機能を発揮する。
- 3 様々な利用者に対して支援する職員が、多様なニーズに対応するため、研修プログラムを充実させた。
- 4 措置利用者の空きがないよう行政に働きかけると共に、「契約入所」の利用を分かりやすく使いやすくするように努めた。
- 5 新規入所者への開拓。入所者で精神科への受診者が増えており、定期受診と経過観察を中心に対応した。
- 6 管理棟の雨漏り修繕、スプリンクラーの入替工事を行い安心安全となる生活環境を整えた。
- 7 介護の仕事紹介と将来の介護人材確保の為、高富中のキャリアナビに主任生活相談員が講師として出席した。
- 8 措置費の増額や介護保険施設の処遇改善加算等に替わる職員の給与面の向上に向け行政と交渉の場をもった。
- 9 今年2月に101歳になられた方のお祝いを年度内に行うことが出来た。

②利用者状況

R7	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
措置	31	30	30	30	30	31	31	31	34	33	34	36	381
契約	6	6	7	7	8	7	7	8	8	7	8	8	87
ショート						1							1
合計	37	36	37	37	38	39	38	39	42	40	42	44	469

R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
措置	37	35	36	33	35	36	35	34	34	33	30	31	409
契約	4	4	4	4	5	7	7	7	7	6	6	6	67
ショート											1		1
合計	41	39	40	37	40	43	42	41	41	39	37	37	477

※山県市高齢者緊急一時保護事業の継続(高齢者虐待ケースの本人と養護者の分離目的)を行った。

※山県市生活管理指導短期宿泊事業の継続(ひとり暮らしの高齢者が要介護状態となることを予防する為、短期間の宿泊により基本的生活習慣を確立する)した。

③年齢別利用者状況

	60歳以下	60歳～	70歳～	80歳～	90歳～	計
男性	0	3	13	6	0	22
女性	0	1	5	8	8	22
計	0	4	18	14	8	44

最少年齢 63歳
最高年齢 101歳

④職員体制

	施設長	事務職員	主生活相	生活相	支援員	看護師	栄養士	合計
常勤	1	1	1	1	4	1	0	9
非常勤	0	0	0	0	5	0	1	6
計	1	1	1	1	9	1	1	15

5月に外国人留学生アルバイト2名・短時間アルバイト1名採用

⑤年間行事実施状況

	行 事 内 容
4月	・買物外出(10日・17日・22日・24日)
5月	・買物外出(20日)・荘内グランドゴルフ大会(22日)
6月	・全館バルサン消毒(10日)・買物外出(17日)
7月	・買物外出(17日)
8月	・買物外出(21日)・夏祭り(6日)
9月	・買物外出(10日)・敬老会(11日)
10月	・買物外出(16日)・荘内GG大会(28日)
11月	・秋の外出(13日・18日・21日・27日)
12月	・買物外出(16日)・忘年会、餅つき(18日)
1月	・新年会・買物外出(15日).101歳お祝い(22日)
2月	・買物外出(12日)
3月	・雛祭り(3日)・買物外出(11日)

⑥各種会議

会議名	開催頻度	主な事項
職員会	1回/月	各会議の報告・行事関係、医務関係、研修等報告・来月の予定等
研修委員会	1回/月	研修報告と連絡、日程等
行事委員会	随時	反省と翌月の打ち合わせ等
給食委員会	1回/月	厨房との献立調整と入所者の食事形態の確認
支援員会議	1回/月	利用者への対応の統一と生活課題等の検討
ケース会議	1～2回/月	ケアプランの実施状況及び必要に応じての修正検討・情報共有
感染症対策委員会	1回/月	新型コロナウイルスを中心とした感染症対策の検討及び実施状況確認
身体拘束委員会	1回/月	身体拘束の検討を要する利用者について必要に応じて協議
事故対策委員会	1回/月	事故の原因と今後の対策について協議
栄養士会議	1回/月	法人事業所の栄養士の会議各事業所からの問題点等あれば検討
虐待防止委員会	1回/月	各事業所での対策と法人全体での統一事項等確認

⑦研修会

外部研修	県老施協 養護老人ホーム研修	9月26日	
法人研修	事例研究発表会	11月22日	
	幹部研修	2月22日	
荘内研修	感染症研修	4月25日	9月25日
	身体拘束についての考え方	10月22日	
	緊急時の対応	都度	

※ 毎月の職員会後に研修会を行い季節性感染症等の対応を学ぶ。

令和7年度 かがしまこども園事業報告書

保育方針の基本等

法人理念及び、園の方針に基づき、子ども一人ひとりの個性を受け止め、安心してのびのびと生活できるよう教育保育を実践した。物的環境の工夫とともに、人的環境として笑顔での関わりを大切にしながら、子ども同士や保育者との関わりを大切に取組んでまいりました。

(1)教育保育内容の充実 遊具・教材の計画的な導入を行い、乳幼児期の育ちを大切にした教育・保育環境の充実を図った。あわせて教育内容の見直しを進め、子どもの主体的な活動がより見られるようになった。

(2)保健衛生・安全対策の徹底 テラス整備や衛生管理の徹底を行い、安全で安心できる保育環境の維持・向上に努めた。日常の安全意識の向上にもつながり、大きな事故なく運営することができた。

(3)業務の効率化の推進 園業務支援システム等の活用により業務の見直しを進め、業務の効率化と職員の負担軽減を図った。職員が保育に向き合う時間の確保につながった。

(4)職員研修の充実 外部講師による研修や公開保育を継続的に実施し、職員の資質向上に努めた。研修を通して子ども理解が深まり、日々の保育実践に生かされている。

(5)人材の確保・園児獲得 就職フェアやホームページ等を活用した広報活動を行い、人材確保および園児募集に取り組んだ。パンフレットの改訂や説明会の工夫により、園の理解促進につながった。

- 保育年齢

0歳(産休明け生後57日以降)～小学校就学前
- 特別保育サービス

延長保育・障害児保育・乳児保育・一時預かり事業
- 給食費(3歳児以上)

副食費(月額)4700円 主食費(月額)700円
- 特色ある行事

春の遠足・子どもフェスティバル(子どもの日)・保育参観・夏祭り・プール開き・運動会・秋の遠足・お店屋さんごっこ・ゆうぴんごっこ・花餅作り・新年お楽しみ会・節分(豆まき)・生活発表会・ひな祭り・お別れ会食
- 定員

148名(教育枠9名、保育枠139名)
- 鉄筋コンクリート造2階建

建物面積865.8㎡
- 特色ある保育

手話教室・英語教室・サッカー教室

1.月別利用児童数

	定員数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均利用率
0歳児	10	8	8	9	10	10	10	10	10	10	10	10	9	114	95%
1歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264	100%
2歳児	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	308	103%
3歳児	30	29	30	30	29	30	30	30	30	30	30	30	30	358	99%
4歳児	30	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	348	97%
5歳児	30	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312	87%
計	147	139	140	141	141	143	143	143	143	143	143	143	142	1704	97%
前年度	147	142	144	144	146	145	144	142	141	142	143	143	143	1719	97%

2.標準時間・延長利用児童数

標準時間保育 平日 7:00～18:00 土曜日 7:00～18:00
延長保育 平日 18:00～20:00 土曜日 18:00～19:00

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	2	5	4	4	5	6	12	9	7	27	8	12	101
1歳児	8	18	13	12	10	19	22	14	16	19	17	30	198
2歳児	32	25	24	28	21	38	36	29	29	26	29	27	344
3歳児	41	40	34	52	42	38	65	49	46	44	53	54	558
4歳児	31	16	16	25	11	22	32	14	14	24	20	38	263
5歳児	56	39	44	46	35	41	62	34	41	44	38	47	527
計	170	143	135	167	124	164	229	149	153	184	165	208	1991

3.障害児利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	該当者数
2歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
以上児	0	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
計	0	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

4.年間主要行事(毎月行っている誕生会、げんき会、英語教室、手話教室、サッカー教室[年9回]等を除く。)

主 要 行 事										主 要 行 事									
4月	入園式・新入園児歓迎会・ワクワク運動遊び									10月	運動会・芋掘り・秋の遠足・おみせやさんごっこ縦割り活動								
5月	子どもフェスティバル・春の遠足・ワクワク運動あそび									11月	保育参観・七五三参り・消防署による避難訓練・おみせやさんごっこ縦割り活動								
6月	個人懇談・ぞうさんクラブ交通教室・保育参観									12月	おみせやさんごっこ開店日・花餅作り(民生委員との交流)								
7月	七夕祭り・プール開き・夏祭り(民生委員との交流)・ワクワク運動あそび									1月	ゆうぴんごっこ・新年おたのしみ会・個人懇談(年長児)								
8月	夏野菜の収穫・プール納め・ワクワク運動あそび									2月	節分(豆まき)・生活発表会・ぞうさんクラブ交通教室・小学校との交流活動・ワクワク運動遊び								
9月	ワクワク運動あそび・祖父母参観									3月	ひなまつり会・お別れ会食・卒園式								

5.一時預かり利用児童数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未満児	0	9	2	9	2	7	5	3	5	3	4	6	55
以上児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	9	2	9	2	7	5	3	5	3	4	6	55

6.保育時間 平日 土曜日
短時間 8:30～16:30 8:30～16:30
標準 7:00～18:00 7:00～18:00
延長 7:00～20:00 7:00～19:00

職員構成			
職 名	正職	パート	計
園長	1		1
事務長	1		1
主幹保育教諭	2		2
指導保育教諭	1		1
保育教諭	13	14	27
保育士		2	2
学生他		6	6
看護師	1		1
管理栄養士	1		1
調理師	1	1	2
調理員		2	2
駐車場係		1	1
計	21	26	47
前年度	22	15	37

産休

(研修会)

・日本保育協会オンラインセミナー 年1回

・東海北陸保育研究大会(福井) 年1回

・保育士等キャリアアップ研修 年6回

・岐阜市研修学習会

年齢担当別等部会 年7回

エピソード研修 年6回

・岐阜県保育研究協議会

施設長研修会 年1回

階層別研修 年1回

課題別研修 年1回

テーマ別研修 年1回

保育士研究発表会 年1回

ブロック別研修会 年1回

・岐阜県民間保育園連盟 研修会 年1回

・岐阜市幼小合同研修会 年2回

・同朋会研修会(新人・リーダー研修等) 年5回

・同朋会研究発表会 年1回

・職員会議(虐待防止委員会・給食委員会) 毎月

・主幹・副主幹会議 毎月

・リーダー会議 毎月

・以上児職員『造形遊び』研修(補助金) 年6回

・作業療法士による研修会・ケース会議 年5回

令和7年度 かようこども園事業報告書

保育方針の基本等

社会福祉法人同朋会の基本理念である「一つの命を共に生きる」を指針として、日々子どもたち（保護者）の最善の利益を図りました。

家庭や地域の方々と連携して、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境のもとに、個性を尊重しながら「心豊かでたくましい子」の育ちに努めました。

福祉サービス第三者評価を受審しました。評価いただいた点については励みにし、指摘事項については今後検討を重ね、サービスの提供に努める意識を高めました。

令和6年度事業配分決定を受け、7年度は園舎外壁の改修工事を行いました。

トランジットモール社会実験のイベントやコミュニティーバス80万人達成イベントに参加のお誘いを受け、参加しました。地域との繋がりの大切さを感じ、園行事に地域の方をお誘いする機会を作りました。

- | | | |
|-------------|---|----------------------------------|
| ● 保育年齢 | 0歳(産休明け生後57日以降)～小学校就学前 | ● 定員 129名(教育枠9名、保育枠120名) |
| ● 特別保育サービス | 延長保育・障害児保育・乳児保育・一時預かり事業 | ● 鉄筋コンクリート造2階建 建物面積1058.39㎡ |
| ● 給食費(3歳以上) | 副食費(月額)4,900円 主食費(月額)1,000円 | ● 特色ある保育 手話教室・英語教室・サッカー教室・スポーツ教室 |
| ● 特色ある行事 | 春の遠足・こどもの日お楽しみ会・保育参観・夏祭り・プール開き・親子ふれあい運動会・秋の遠足・お店屋さんごっこ・クリスマス会
新年お楽しみ会・節分(豆まき)・ひな祭り | |

1.月別利用児童数

	利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均利用率
0歳児	10	3	6	7	10	10	10	10	10	10	10	10	10	106	88%
1歳児	19	21	19	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	250	110%
2歳児	19	23	23	22	22	23	22	24	24	24	24	24	24	279	112%
3歳児	27	27	26	26	26	26	27	26	26	26	26	26	26	314	97%
4歳児	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26	320	99%
5歳児	27	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25	296	91%
計	129	125	125	127	130	132	132	133	133	132	132	132	132	1565	100%
前年度	129			121	123	123	123	124	125	124	123	123	123	1470	97%

5.一時預かり利用児童数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未満児	3	0	0	2	15	4	3	3	3	2	3	1	39
以上児	2	5	7	1	2	3	1	2	0	0	0	0	23
計	0	5	5	7	3	17	7	4	5	3	2	3	61

6. 保育時間

時間	平日	土曜日
短時間	8:30～16:30	8:30～16:30
標準	7:00～18:00	7:00～18:00
延長	7:00～20:00	7:00～19:00

2.標準時間・延長利用児童数

標準時間保育	平日	7:00～18:00	土曜日	7:00～18:00
延長保育	平日	18:00～20:00	土曜日	18:00～19:00

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	2	4	5	8	9	8	9	9	9	9	9	9	90
1歳児	16	14	16	16	17	16	17	17	17	16	16	16	194
2歳児	18	18	18	18	18	18	20	20	20	20	20	20	228
3歳児	22	22	22	22	22	20	21	21	21	21	21	21	256
4歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
5歳児	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25	25	25	296
計	107	107	110	113	116	112	117	117	117	116	116	116	1364

3.障害児利用児童数

[illegible]

職員構成 3月末 (人)

職名	正職	パート	計
園 長	1		1
主幹保育教諭	2		2
保育教諭・保育士	14	8	22
保育補助		3	3
看護師		1	1
事務長	1		1
調理員	2	3	5
門警備		1	1
計	20	16	36
前年度	22	14	36

(研修会等)

- | | |
|----------------------|------|
| ・ 東海北陸研究大会 | 年1回 |
| ・ 岐阜市研修学習会 | 年15回 |
| 年齢担当別等部会 | 年7回 |
| ・ 岐阜県保育研究協議会 | |
| 施設長研修会 | 年1回 |
| 階層別研修 | 年1回 |
| 課題別研修 | 年1回 |
| テーマ別研修 | 年1回 |
| 保育士研究発表会 | 年1回 |
| ブロック別研修会 | 年1回 |
| ・ 岐阜県民間保育園連盟 研修会 | 年1回 |
| ・ 保育士等キャリアアップ研修 | 年6回 |
| ・ 同朋会研修会(新人・リーダー研修等) | 年5回 |
| ・ 同朋会研究発表会 | 年1回 |
| ・ 職員会議 | 毎月 |
| ・ リーダー会議 | 随時 |
| ・ ホパイの会 | 毎月 |

4.年間主要行事(毎月行っている誕生会、なかよし会、英語教室、手話教室、スポーツ教室、サッカー教室等を除く。)

主 要 行 事		主 要 行 事	
4月	入園・進級式・春の遠足	10月	親子ふれあい運動会・芋掘り・秋の遠足
5月	子どもの日お楽しみ会・個人懇談	11月	個人懇談
6月	保育参観	12月	お店屋さんごっこ・クリスマス会
7月	プール・水遊び開始 セタ会	1月	新年おたのしみ会・鬼見学
8月	おばけやさんごっこ・夏祭り プール納め	2月	節分(豆まき)・生活発表会・ぞうさんクラブ交通安全教室
9月	祖父母への手紙投函	3月	ひな祭り・お別れ会・卒園式

令和7年度 高富保育園事業報告書 令和8年度より たかとみこども園に改名

保育方針の基本等

- ・山県市から移管し3年目、山県市がこれまで「こころ豊かな生き生きとした子どもを育てる」とした保育目標を引き継ぎつつ、法人の基本理念である「ひとつの命を共に生きる」を指針として、日々子どもたち(保護者)の最善の利益を図るため、毎日の教育・保育に努めてまいりました。
- ・感染症への感染防止対策は引き続き実施し、保育室及び玩具の清掃・消毒等を毎日定期的に行い、感染防止及び衛生管理に努めました。
- ・行事開催にあたっては行事運営の見直しを行い、各教室の自由参観日を新しく設けるなど保護者が活動の様子を見学できる機会を増やしました。
- ・終了後は保護者にアンケートを行い、保護者の思いや行事の見直しに繋げました。
- ・『コドモン』アプリでのお便り等の配信や保護者との連絡、また、登降園の管理等、アンケートの実施・集計などICTを活用した業務の合理化を図りました。
- ・未満児の保護者とは日々の連絡帳を通して、子どもの日々の姿を伝え合い保護者との信頼関係構築にも努めました。
- ・山県市のこども・健康課や小学校と連携を密にし、情報共有をしながら一人ひとりの子どもの育ちに寄り添える支援体制の工夫に努めました。

- 保育年齢 0歳(産休明け生後57日以降)～小学校就学前
- 特別保育サービス 延長保育・障害児保育・乳児保育・一時預かり事業
- 給食費(3歳児以上) 無償(山県市が全額補助)
- 特色ある行事 保育参観・プール開き・運動会・秋の遠足・七五三詣り・発表会・クリスマス会・節分(豆まき)・ひなまつり・お別れ遠足・お別れ会
- 利用定員 165名(教育枠15名、保育枠150名)
- 鉄筋コンクリート造2階建 建物面積1,138.32㎡
- 特色ある保育 手話教室・英語教室・スポーツ教室

1.月別利用児童数

	利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均利用率
0歳児	12	4	4	6	6	6	6	7	9	9	10	12	12	91	63%
1歳児	25	25	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	26	306	102%
2歳児	32	31	31	31	31	31	31	31	31	31	30	30	30	369	96%
3歳児	32	31	31	31	31	32	32	32	32	32	32	32	32	380	99%
4歳児	32	30	30	30	30	31	31	31	31	31	31	31	31	368	96%
5歳児	32	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	244	64%
計	165	141	141	143	143	145	145	147	149	150	150	152	152	1,758	89%
前年度	172	140	141	145	148	151	151	152	153	153	153	153	153	1,793	87%

2.標準時間・延長利用児童数

標準時間保育 平日 7:30～18:30 土曜日 7:30～18:00
延長保育 平日 18:30～19:00

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	3	4	5	5	5	5	6	7	8	9	9	9	75
1歳児	10	8	8	8	9	9	9	9	10	9	11	11	111
2歳児	22	19	19	19	20	20	18	18	19	19	17	17	227
3歳児	18	20	18	17	20	20	20	19	19	17	18	17	223
4歳児	19	19	17	17	18	18	20	19	19	18	19	19	222
5歳児	12	12	14	12	10	13	13	13	13	13	13	13	151
計	84	82	81	78	82	85	86	85	88	85	87	86	1009

3.障害児利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
以上児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
													0
計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

4.年間主要行事(毎月行っている誕生会、食育指導、保健衛生指導、避難訓練、防犯安全指導、発育測定、交通安全生活指導、英語教室、手話教室、スポーツ教室[年9回]等を除く。)

主 要 行 事					主 要 行 事				
4月	入園式、新入園児歓迎会				10月	運動会、市交通教室、内科健診、歯科検診 0・1歳児フリー参観 秋の遠足			
5月	市交通教室、親子引き渡し訓練、内科健診、保育参観(未満児) 個人懇談				11月	消防署立ち合い避難訓練(消防車放水)			
6月	保育参観(以上児)、歯科健診				12月	発表会、クリスマス会			
7月	七夕会、プール・水遊び スポーツ教室(プール)自由参観				1月	保育参観			
8月	プール・水遊び終了 スポーツ教室(プール)自由参観				2月	節分(豆まき) 英語教室自由参観			
9月	手話教室自由参観				3月	ひなまつり会、お別れ遠足、市交通教室、お別れ会、卒園式			

5.一時預かり利用児童数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未満児	5	0	4	3	0	4	2	2	2	4	0	0	26
以上児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	0	4	3	0	4	2	2	2	4	0	0	26

6.保育時間 平日 土曜日
短時間 8:30～16:30 8:30～16:30
標準 7:30～18:30 7:30～18:00
延長 7:00～19:00

職員構成 3月末 (人)

職 名	正職	パート	計
園 長	1		1
主幹保育教諭	2		2
指導保育教諭	1		1
保育教諭	11	18	29
看護師			0
事務員	1		1
支援員			0
清掃員		1	1
計	16	19	35
前年度	12	24	36

＝研修会等＝
・東海北陸保育研究大会 年1回
・保育士等キャリアアップ研修 年2回
・岐阜県保育研究協議会
施設長研修会 年1回
階層別研修 年7回
課題別研修 年5回
テーマ別研修 年7回
保育士研究発表会 年1回
ブロック別研修会 年1回
・岐阜県民間保育園連盟 研修会 年1回
・同朋会研修会(新人・リーダー研修等) 年5回
・同朋会研究発表会 年1回
・訪問支援 れじりえんす 年8回
・木育教室 年2回
・救命救急講習 年1回

・代表者会議 毎月
・職員会議 毎月
給食会議 毎月
これからの保育の質向上あり方検討会 毎月
・クラス会議 随時
・行事担当者会議 随時
・園内研修会 年6回